高齢者の暮らしを支える総合相談窓口

地域包括支援センター

住み慣れた地域で支え合い、全ての高齢者が幸せを実感できるまちを目指して。

問い合わせ・相談先

☎0968(25)7216
本庁舎1階 6番窓口
（高齢支援課内）

生活支援体制整備事業

地域の人や団体、企業、福祉関係者など、さまざまな組織がつながり、
高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりを進めています。



ニーズ調査

高齢者が日頃どんなことに困っているのか、どんなものが地域に必要かなど、現状把握のため、さまざまな現場で調査しています。

通いの場に参加



地域のサロンや通いの場に参加し、地域の困り事を把握しています。

移動販売現地調査



移動販売の現場に行き、高齢者の買い物について、実情を調査しています。

マッチング機能

地域の課題やニーズに対して、人や場所、活動などをつなぎ、お互いが支え合える地域づくりを進めています。

いきいきサポートラボ講座

介護予防に貢献したい熱い思いを持った人が集まって、レクリエーションの勉強や実践などを行い、楽しく活動しています。本講座がきっかけで、ボランティア団体「きくち癒し隊」や「まだイケる隊」が立ち上がりました。

シニア向け生活支援サービスガイド

各地域の通いの場や移動販売の情報など、市の生活支援情報をまとめています。地域包括支援センター窓口で配布中です。ホームページからダウンロードもできます。

ホームページ



介護予防に向けた主な取り組み

地域包括支援センターは、困っている高齢者に寄り添うのはもちろんですが、高齢者が良い状態を維持したり、体力を向上したりして、元気に過ごせるよう、さまざまな介護予防の取り組みも行っています。

1 体が弱ってきた、物忘れが気になりだした人

地域で取り組む介護予防活動に参加して、楽しく元気に体を整えていきましょう。

いきいき100歳体操

DVDを見ながらゆっくり行う30分程度の筋力運動。椅子を使いながら運動するので、安心です。



サロン・通いの場

月1回程度、茶話会などを楽しんでいます。徒歩で出かけ、人と話すことは、介護予防にも効果的。



UDe-スポーツ

誰もが参加できるUDe-スポーツ。ボタンが4つで操作は簡単です。楽しく認知症予防ができます。



2 生活機能の低下がみられる人

基本チェックリストを実施しています。自分の生活や体のことを振り返ってみませんか。
チェック後、対象者に該当すると以下のサービスを受けることができます。

- ●身体機能の低下がある人 ➡ **通所型サービスA**
  活動を通して、できることを増やしていくことを目的としたデイサービスです。
- ●栄養状態が不良の人
  ●口腔機能低下のある人 ➡ **訪問型サービスC**
  管理栄養士や歯科衛生士が、原則3カ月間集中的に、訪問支援をしていきます。

3 要介護認定で要支援1、または2の認定が下りた人

ケアマネジャーが、心身の状態や生活環境、困っていることなどを確認しながら、
“自分らしい”生活を目指し続けるための目標や支援方法を一緒に考えていきます。

事例 バスに乗ってデパートに行くのが好きだったが、バスの乗り降りが大変になり、最近は行けなくなった。閉じこもりがちになり、体が弱ってきたため、介護保険を申請し、要支援1が下りた。



本庁舎1階 6番窓口で相談を受け付けています

現在の状況を聞いた上で、現状に合わせた提案もできます。
気になることがあれば、気軽にご相談ください。